

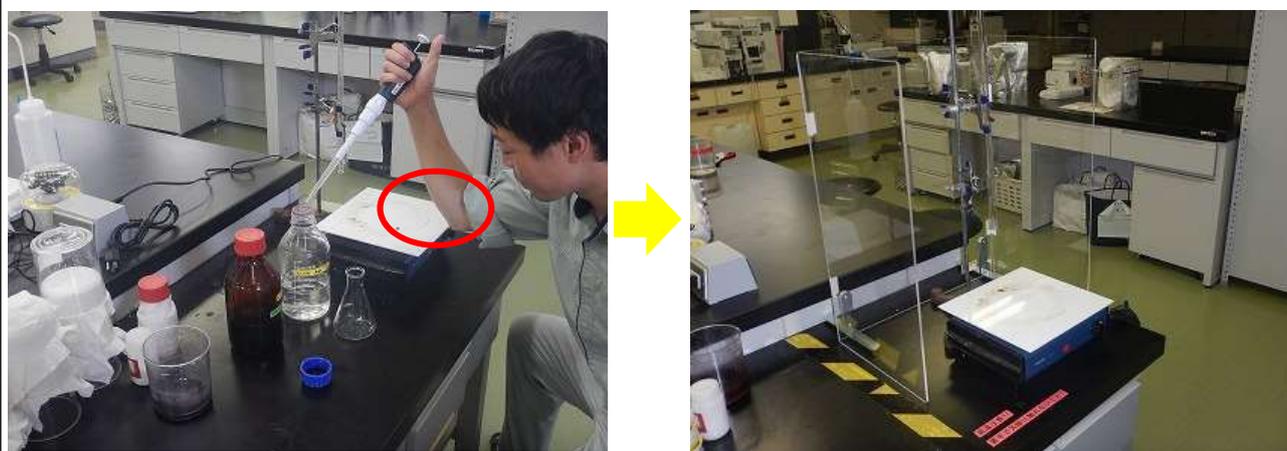
# 高温作業区分の見える化による火傷防止

## 改善前

実験室で測定を行っていた際、近くにあったヒーターの天板(高温部)に肘が触れ、火傷しそうになった。

## 改善後

トラテープで高温部との仕切りとなる目印を作り、テプラで注意喚起の表示を行った。さらに、アクリルの仕切り板を設置し高温作業区分を行った。



## 改善効果

作業区分を行うことで、測定時に高温部に肘が触れることがなくなった。火傷防止。